

第9回人工物工学コロキウム「心を豊かにする工学を考える」開催案内

Well-being への関心に見られるように、心の豊かさの重要性が顕在化してきている。自己実現や美など、高次の欲求にどう応えるかは、次世代のものづくりにおいても、これからの工学の課題である。しかし、心は直接的に観察できないため、工学的に扱いにくい。科学のレンズはこれを「見える化」し得る。心の豊かさとは何か。どのように科学的にアプローチできるか。本コロキウムでは、幸福学、自己と主体、感情力学、神経美学などの多様な視点から、心の豊かさの本質に迫る。パネルディスカッションを通して、心を豊かにする工学の可能性について議論したい。

■日程: 2024年3月18日(月) 14:00-17:30 (Zoom ウェビナーを用いたハイブリッド開催)

■場所: 東京大学 本郷キャンパス 工3号館 31号講義室 (https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_04_j.html)

■主催/共催

- 主催: 東京大学大学院 工学系研究科 人工物工学研究センター

■申込方法

- ・ [イベントHP](#)、または右のフォームより直接お申し込みください(<https://forms.gle/fkcQ33gHeED4wfen6>)。
- ・ 申し込まれた方々に対して、2/29(木)を目安に Zoom ウェビナーの情報をお送り致します。
- ・ その後も聴講申込はイベント終了まで受付けますが、情報交換会の申込は 2/29(木)までです。



■プログラム

| | |
|-------------|--|
| 14:00-14:05 | 開会挨拶 |
| 14:05-14:35 | 「自己と主体性」 今水 寛 (大学院人文社会系研究科 教授/人工物工学研究センター 教授(兼)) |
| 14:35-15:05 | 「ウェルビーイングデザイン～人々の幸せのための製品・サービス・コミュニティ・教育の設計法～」 前野 隆司(慶応義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 教授) |
| 15:05-15:35 | 人生の踊り場から生まれるしなやかな well-being—臨床心理実践からみる心の豊かさ— 高橋 美保(大学院教育学系研究科 教授) |
| 15:35-15:50 | 休憩 |
| 15:50-16:20 | 「mental well-being に向けた脳工学技術による感性の可視化と脳波ビックデータ収集への期待と課題」 町澤 まろ(広島大学 脳・こころ・感性科学研究センター 特任准教授) |
| 16:20-16:50 | 「感情力学と探究サイクルモデル」 柳澤 秀吉(機械工学専攻 准教授/人工物工学研究センター 准教授(兼)) |
| 16:50-17:20 | 総合討論 モデレータ: 太田 順(人工物工学研究センター 教授) |
| 17:20-17:30 | 閉会挨拶 高橋 浩之(人工物工学研究センター長) |
| 17:45-19:15 | 情報交換会(工2号館 展示室)、参加費 2,000 円(2/29(木)までにお申し込みください) |

(参考)

東京大学大学院 工学系研究科 人工物工学研究センターは、これまでに確立された人工物工学の基盤を発展させ、人類の持続可能性に資する次世代ものづくり(製品のみならず、そのライフサイクルを通じたサービスも含む)に関する研究教育と社会実装を推進する、工学系研究科の附属施設として本郷キャンパスに2019年に設置された新たなセンターです。

センターでは、東京大学工学系研究科の研究者が中心となりつつ、他分野の研究者と協力し、技術のみならず価値や受容性など、広く人や社会と技術の関係まで考慮し、学際的な取り組みによって問題解決の手段を模索するとともに、ニーズ駆動型の次世代ものづくりの研究教育を行っています。センター内に価値創成部門、認知機構部門、実践知能部門の3つの部門を設置され、価値創成部門においては新しいモノづくり及びモノ・サービスエコシステムの設計、認知機構部門においては人と人工物の認知過程及び人に資する人工物作り、実践知能部門においては人工知能をはじめとする知能化技術の理論と実践の融合に関する教育研究を行っています。

人工物工学研究センターでは年に2回ほど、人工物工学コロキウムと呼ぶ公開シンポジウムを開催し、人工物工学と関わりのある学内外の方をお招きし、話題提供と議論をしております。

(過去の開催テーマと担当部門)

- ・ 第8回人工物工学コロキウム:デジタル時代のサービスづくりと人工物(価値創成部門/原)
- ・ 第7回人工物工学コロキウム:SDGS時代の物流システムのデザイン(実践知能部門/青山)
- ・ 第6回人工物工学コロキウム:DXに向けたデジタルエンジニアリングの進化(認知機構部門/大竹)
- ・ 第5回人工物工学コロキウム:つながる人工物システム(価値創成部門/杉田)
- ・ 第4回人工物工学コロキウム:ダイナミック人工物(実践知能部門/青山)
- ・ 第3回人工物工学コロキウム:人・もの・社会の共存を目指す人工物工学(認知機構部門/太田)
- ・ 第2回人工物工学コロキウム with ものづくり経営研究センター:今求められる次世代ものづくり戦略(価値創成部門/梅田)
- ・ 第1回人工物工学コロキウム:多数パラメータと科学技術(実践知能部門/松尾)

各回の開催報告は、人工物工学研究センターの研究年報に掲載しています。

<http://race.t.u-tokyo.ac.jp/about/report/>